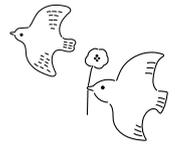




農場までの道のり ①西神中央駅～西神中央公園



生まれ変わった西神中央から里山へ

西神ニュータウンは、神戸市西区と須磨区の丘陵地帯に、住宅と産業を中心とする複合機能団地として1982年3月に街開きされ、今年で42年目を迎えました。

新たな街づくりが数年前から始まり、なでしこ芸術文化センターや図書館などの文化施設、西区役所や広場の整備、商業施設もリニューアルし、神戸西部の拠点が生まれ変わりました。

小池農園こめハウスへの道のりは、ここ西神中央から始まります。

新しく生まれ変わった街並みを眺めながら神戸西医療センター前を通過し、横断歩道を渡ると、地域住民のオアシス「西神中央公園」に入ります。春には桜、初夏から緑が溢れ出し、秋には紅葉が楽しめる遊歩道があり、ウォーキングにはもってこい。森林浴をしながら、今日の農作業に備えてウォーキングアップ!

野鳥たちが集まる下の池には、様々な野鳥が飛来してきます。その可愛い姿や声を聴くだけで、ちょっと幸せな気分になってきます。

野鳥観察に来られている方たちの望遠レンズの凄さに圧倒され、ケータイカメラでは近付けないくらい、バードウォッチャーさんたちの意気込みを感じたりします。

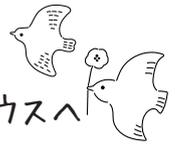
余談はさておき、ここからが本番! 公園を出るとすぐの横断歩道を2回渡れば、神戸の都会から田舎へWarpできる謎の石段が待っています。



都市から神戸の田舎へ Warp!



農場まであと少し ②warpする石段~小池農園こめハウスへ



一気に里山へ

地上に地下鉄が走っているのが見えるよ!

石段を降りれば、目の前に田舎が現る

20段、20段、20段、そして19段、最後の段数が気になって、もう一回上がって数えてみたくなる「謎の石段」を降りると、豊かな田園風景が目の前に広がります。このあたりが、FARM meetingの拠点となります。田んぼの大きさはまちまち。0.2反から4.3反までの圃場が点在しています。秋の米収穫を目指すもよし\*、一年を通じて野菜を育てるもよし、収穫時には自然の中で米を炊いたり、イベントを企画したり。子供ごころを呼び戻して、田舎遊びを満喫できるフィールドがここにあります。

すぐ近くには美味しいお米を育てる檀谷川の水が流れ、檀谷小学校のチャイムや、何といても地下鉄が走っているのが見えるのが、自然と街が調和した都市近郊農業の醍醐味です。西神中央が新しくなっても、檀谷町の風景は変わりません。なんたって檀谷町民は西区の原住民なんですから。

\*稲作用圃場のご利用は、5月までの準備が必要となります。

西神中央線  
市営地下鉄

檀谷小学校

児童館

檀谷川

小池農園  
こめハウス P

万願寺

十里木紙業

県道52号